

## 第 64 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 5 年 6 月 14 日(水)午後 10:30~11:30
2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階
3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 4 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、小倉拓、畠守彦、浅山誠一

欠席委員の氏名 橘智史、安達克典、

放送事業者側出席者氏名 泉清、安田正、生田奈穂、濱田由希子

リモート参加 安田豊

欠席者氏名 洞周作、大崎健志、角田圭三

議題 1) 局側挨拶 (現状報告)

2) 議題

□番組聴取

6 月 9 日(金) 15:24~15:54 に放送しました「ウッキーのちょっとええ話 (第 9 回)」のダイジェストをご聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

## 局側挨拶・報告

### 1. 局側挨拶

本日はお集りいただきありがとうございます。今回より畠さんが初めてのご参加ということでよろしくお願ひいたします。ラジオ局に関わるということは人生でほぼ無いかと思いますが、番組審議委員ということで弊社の番組の方向性などを皆様からご教授いただくのが基本の趣旨となっております。畠さんは教育の現場からの声ですので、また他の方々と違った角度からのご意見いただければ幸いです。

4月から6月にかけてですが、昨年放送した「弁慶記」がギャラクシー賞の優秀賞を受賞しました。主催の「放送批評懇談会」は、今年で創立60周年ですが、テレビ・ラジオなどのメディアの世界の批評をしてきた組織になります。全国からたくさんの応募があるくらいの賞なわけで、土俵が違うはずのところから優秀賞に選んでいただいた作品を作れたと同業者含めいろんなところから大変喜んでいただいております。放送業界の近畿地区二府四県でやっているグループ（JCBA近畿）があるのですが、コミュニティ放送制度から始まった頃から実は全国で唯一、番組褒賞を毎年やっています。この地域では

こういった伝統があって意識が高い人も増えてくる場所なのかなと  
思っておりますが、今回に関しては大崎健志という社員を中心とな  
って70人余りの方々と大作を作ったということで、どこから見ても  
普通には簡単に作れないだろうという内容が出来たので、すごく有  
難いなと思っております。さらに、放送文化基金賞の最優秀賞もいた  
だくことになりました。今後もこの受賞を誇りに持ちながら番組作  
りに取り組んでいきたいと思います。

## 2. 議題

～番組聴取～

小倉：以前も別の番組で言ったかもしれません、なぜ白浜の人を紹  
介するのか、その線引きは何か。僕自身は白浜の人を取り上げるのは  
良いと思うのですが、ビーチステーションが紹介するのではなくて  
FM TANABE が紹介しているのはなぜなのか。理由は何でも良いと  
思うのですが、例えば”田辺・白浜は一体の地域なのでそういうエリ  
アのことも紹介します”でもいいですし。ただ、他所から言われた時  
の立ち位置を抑えておいた方がいいかなと思います。内容的には、ち  
ょっとええ話どころかすごくええ話でした。こういった革製品作っ  
てちゃんと年収稼げるような職業にしたいとか、100年続いて地域

の地場産業にしたいといった話や、他の経験も無駄じやなくて活かされていくんだとか、内容的にはええ話やったと思います。

野村：ウッキーさんに一度お会いしてみたいですね。

小倉：バックパッカーとして世界を見てきたうえでのこの街という視点も良いですし、その辺りの話を絡めながらやっていったら面白そうですね。

浅山：ウッキーさんお話を聴いて、傾聴力とか共感力の高い方だなと感じました。スペインでの経験を散りばめながらお話されていて、すごいなと思いながら聴いていました。この番組が誰向けのものなのか。他のゲストさんの回を聞いていないので分からないのですが、ゲストの方の PR に使っているような内容なのか、他のゲストさんで来られている企業さんの数珠繋ぎなのか、本当にええ話を伝えていて皆さんに人生とはみたいなことを問うていく番組なのか、どうなのかなって思いながら聴いていました。

安田正：人生とはといった内容ですね。この時間で聴取いただく為にダイジェスト版にしていますので、それがわかりにくいかと思いますが、シリーズを聴いていくといろんな苦労をされて社長になられた方や、海外で苦労した経験とか、少なくとも聴いている人が何らか

のことを得られるような番組です。そういうつもりで作られています。

畠：日曜日の午後なんかに流れているといいんじゃないかなと感じました。あと、もの作りに対する想いが伝わってくる内容で、高校生なんかが聴くにあたっては地元の職人さんがクローズアップされたかたちで紹介していただくと、地元にはこうやって頑張っている人がいるよとか、あるいはこういう企業もあるんだよということに繋がっていけばいいなと思いました。

泉：今回 9 回目ということですが、これまではどういったゲストが出られているんですか。

生田：田辺観光バスの代表の方とか、酒のかまくらの代表の方など

安田正：海外のお知り合いの方がたまたま日本に来られた時に連れてきていただいた事もありました。日本というよりも世界を視点にみましょうと。海外に行って戻ってきててもいいし、海外の人が来てもらった時に日本の良さを知ってもらってもいいし、そういう人たちがこの田辺をどう感じたかといったことも含めてやっています。ですので、来られるゲストによって内容が変わってきます。

生田：ニューヨーク在住の NY 大使アテンドの方がいらっしゃった

時もありました。

泉：ウッキーさんの人脈のなかで、素晴らしいなという方に光をあてている感じですかね。

小倉：田辺に限らず白浜にもすごくおもしろそうな人がたくさん居るんですね。

安田豊：ご意見ありがとうございました。この番組は初めて聴きましたが、いろんな方特に海外経験のある人に対してお話をする番組なんだなと知りました。田辺と白浜のお話もありましたが、ある意味で田辺からみると白浜も繋がりのある地域ですし、そんなに意識しなくてもいいのかなとわたし自身は感じております。企業の宣伝になるのではという事に関しては、FM TANABE としても気を付けているところですが、インタビューされる方の生き方が参考になったり、海外での経験がこういう風に活かされるんだなと思えることが大事なのかなと思いました。

### 3.その他番組への質問・意見

特になし

### 4.今後の放送に対する意見・要望

浅山：今梅の時期で、収穫されている方々に聞いてみたらリクエストの仕方をもっと簡単にしてほしいという意見がありました。どういう形でやられていますか？

泉：ホームページからリクエストフォームに入つてもらうと、曲名かアーティスト名で検索出来て曲が一覧で出てくるので。

浅山：であれば、その方はそのやり方を知らない可能性ありますね。あと、弁慶記の次の広がりをまたいろいろお聞かせいただければ。大正大学表現学部の教授（審査員の一人）の方も他のコミュニティ放送局に広がっていくのを期待しているという事だったので是非そういった報告もお聞きしたいですし、FM TANABE さんとしても次の展開をどう考えているのかお聞きしたいです。

泉：やはりこの作品はオリジナル脚本ありの、他の者が簡単に手を出せるものではないですので、大崎の中にそういう想いが充電されてきた時に起こるかもしれないですし。ただ、弁慶記の広がりでいうと YouTube に全話アップしているものですので、どこかの放送局の方が聴いて放送したいと言われた時に無償で提供するのかどうか、詰めていかないといけないところですが広がっていくという意味ではありだと思っています。

小倉：一ノ関とか平泉とか岩手県にコミュニティ放送局は？

泉：あります。

小倉：そこに売り込みもできますね。

泉：考えておきます。

小倉：次の展開として、他のコミュニティ放送局と一緒に制作する方法もありますよね。今の時代オンラインでもできますから。もう弁慶の題材はやってしましましたけど、向こうの地域でも出演を募るとかできますね。大変でしょうけど。

泉：弁慶記は生まれてから死ぬまでのストーリーでしたけど、例えば安宅の関の話を取り上げて石川県と共作することも可能かもしれませんね。

畠：生徒とか学校、地域との関りとか特色について機会があれば、そういう番組を作っていただけだと思います。

安田豊：今回の話題（ウッキーさんの番組）にもありましたが、海外とのつながりとかインバウンドに話が広がってきてているように思いますし、田辺って海外の人に来てもらって一緒にというのが特徴でしうから是非 FM TANABE としてもその辺りのご協力できることをやっていきたいと思います。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月

日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし